経営講演会＆県有施設設計講習会

西村会長開会挨拶

電気設備業界を取り巻く厳しい環境の中で、会員企業が時代の変化に対応した経営戦略によりこの難局を乗り切るための有益な情報を得ると共に、東日本大震災以後の県有施設の設備設計についての知識を取得するため、平成２３年９月２８日（水）午後１時３０分から神戸市教育会館の５０１号室において会員企業の経営者や幹部職員約６０名参加のもと、経営講演会＆県有施設設計講習会を開催しました。

講演会は西村善明会長の挨拶の後、第１部は㈱東京商工リサーチ取締役情報本部長の友田信男氏から「伸ばせる会社・伸ばせない会社～　電気工事業界の動向とその危機管理について～」と題して講演をいただきました。

氏は銀行勤務を経て、昭和５５年に㈱東京商工リサーチに入社されました。福岡支社情報部長、北九州支店長、本社情報部長、情報部統括部長・上席部長の要職を歴任されまして、本年６月に取締役にご就任されました。

この間、景気と中小企業の動向の分析に取り組まれ、平成１９年から財団法人企業共済協会の「企業倒産調査年報」検討委員や、本年４月からは参議院経済産業委員会調査室客員調査員を務められる等、幅広くご活躍されています。

厳しい環境下での経営に当たってのヒントや心構えが得られたのではないかと思います。

友田氏の講演

第２部ではご多用中にも拘わらず、快く講演をお引き受けいただいた兵庫県県土整備部住宅建築局設備課副課長の大川清嗣氏から「東日本大震災と県有施設の設備設計」と題して講演していただきました。

東日本大震災以後の県の設備設計に対する考え方がよく理解出来、参加の会員にとって、これからの電気工事を行う上で貴重な情報が入手できたのではないかと思います。

大川氏の講演